

ニュースリリース

CATV の 4K/8K テレビジョン放送に関する必須特許募集の
4 回目の対象規格追加

2023 年 10 月 1 日

アルダージ株式会社

パテントプールライセンスを管理するアルダージ株式会社は、本日、CATV の 4K/8K テレビジョン放送の標準規格に関する必須特許募集の対象規格追加を行うことを発表しました。

現在、アルダージ株式会社は、関連する特許を一括して許諾する、いわゆるパテントプール方式によって、現行のデジタルテレビジョン放送の標準規格に関する 1000 件を超す必須特許に基づくライセンスを許諾しております。これにより受信機の製造販売および放送サービスを行うための特許問題を解決し、アナログ放送からデジタル放送への完全移行に伴うデジタルテレビジョン放送システムの普及促進に大いに貢献してまいりました。

アルダージ株式会社は、このような現行のデジタルテレビジョン放送に関する経験を踏まえ、2017 年 4 月 3 日付にて、CATV の 4K/8K テレビジョン放送の標準規格に関する必須特許の募集を行いました(同日付ニュースリリース「IPTV 及び CATV の 4K/8K 放送に関する必須特許募集」)。また、2017 年 6 月 10 日付けにて、主に 8K 放送に使われることが想定される標準規格を対象規格に追加いたしました(同日付ニュースリリース「CATV の 4K/8K テレビジョン放送に関する必須特許募集の対象規格追加」)。

次いで、2018年12月21日付けにて、BS放送の再送信ならびにケーブル局の自主放送に使われることが想定される標準規格を対象規格に追加いたしました（同日付けニュースリリース「CATVの4K/8Kテレビジョン放送に関する必須特許募集の2回目の対象規格追加」）。

さらに、2019年12月20日付けにて、ケーブル局のIP化伝送、BS放送のパススルー送信、およびハイブリッドキャスト運用に使われることが想定される標準規格を、必須判定の対象規格に追加いたしました（同日付けニュースリリース「CATVの4K/8Kテレビジョン放送に関する必須特許募集の3回目の対象規格追加」）。

そして、この度、ケーブル局が行うIPによるBS放送のパススルー送信運用に使われることが想定される標準規格を、必須判定の対象規格に追加いたします。

今回の追加後の対象規格に規定された機能および効用の実現に必須と思われる日本特許を保有し、必須判定を希望する方は、日本知的財産仲裁センターに申し立ててください。なお、今回の追加前の対象規格に関する必須特許の募集も引き続き行っております。これらの対象標準規格および手続きに関する詳細は、日本知的財産仲裁センター（<https://www.ip-adr.gr.jp>）またはアルダージ株式会社（<http://www.uldage.com>）のウェブサイトをご参照ください。

アルダージ株式会社の概要

アルダージ株式会社は、デジタル時代の錯綜した特許問題を関係者が協力して解決し、これにより健全な競争を促進するために、2006年7月に設立されました。

複数の特許権者が所有する必須特許を一括して許諾し（パテントプール）、特許権者と事業者双方の利便性を追求する事業を展開しております。

所在地 東京都千代田区丸の内 2-3-2 郵船ビルディング内

電話 03-6256-0150 FAX 03-6256-0151

代表取締役社長 遠藤 秀一